

アラビアのロレンス／完全版（1988）

LAWRENCE OF ARABIA

メディア 映画
ジャンル ドラマ 歴史劇
製作国 イギリス
時間 227分
初公開日 1995/03
公開情報 COLTRI
映倫 G

リバイバル 2008/12/20 [ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント]

【解説】

1962年に製作されたD・リーンの名作「アラビアのロレンス」は、元々ロイヤル・プレミアの時には222分の上映時間であったが、1カ月後には約20分カットされ、以後も上映効率のためなどで次々と短くなっていった。1966年以降は2巻目のプリントが裏焼きになるなどしたまま今日に至っていたものを、欠落部分を探しだして223分に復元、リーンが最終的に216分にカットした。復元には費用がかかりすぎて完成も危ぶまれたが、スコセッシ、スピルバーグ等の働きかけにより88年に「完全版」として上映となった。幸いなことに監督リーン、編集のコーツが直接携わることで当初の編集の間違いを正し、全編にわたって細かいシーンやショットが復元され、フィルムの退化による画質の劣化も蘇った。とりわけ音響効果が飛躍的に改善され、ドルビーSRとグレード・アップ。音楽ばかりでなく、大画面に繰り広げられる移動音の効果が素晴らしい。サントラが失われた部分はオリジナル・キャストが吹き込み、声の衰えはコンピューターで補正するなど緻密に復元。長いシーンの追加は将軍が群略を練るシーンなどそれほどなく、殆どが場面つなぎのカットやエスタブリッシング・ショット、また細かいセリフが復元されている。マイナーカットもあり、子細に比べてみれば多少違った印象をうけるが、圧倒的に画像と音響のパワー・アップしたゴージャスな芸術を前にすれば、ただ息を呑むばかりである。89年、ナショナル・ボート・オブ・レヴュー賞で、復元の功績によりコーディネーターのロバート・A・ハリスが特別賞を受賞した。日本ではビデオ発売が先行された。

【クレジット】

監督	デヴィッド・リーン	David Lean	
製作	サム・スピーゲル	Sam Spiegel	
原作	T・E・ロレンス	Thomas Edward Lawrence	
脚本	ロバート・ボルト	Robert Bolt	
撮影	フレデリック・A・ヤング	Frederick A. Young	
	ニコラス・ローグ	Nicolas Roeg	(第二班)
編集	アン・V・コーツ	Anne V. Coates	
音楽	モーリス・ジャール	Maurice Jarre	
出演	ピーター・オトゥール	Peter O'Toole	ロレンス
	アレック・ギネス	Alec Guinness	ファイサル王子
	オマー・シャリフ	Omar Sharif	アリ酋長
	アンソニー・クイン	Anthony Quinn	アウダ・アブ・タイ
	ジャック・ホーキンス	Jack Hawkins	アレンビー将軍
	アーサー・ケネディ	Arthur Kennedy	ジャクソン・ベントリー
	クロード・レインズ	Claude Rains	ドライデン

ホセ・ファーラー	Jose Ferrer	ベイ 司令官
アンソニー・クエイル	Anthony Quayle	ブライトン 大佐
ドナルド・ウォルフィット	Donald Wolfitt	
マイケル・レイ	Michel Ray	